

資料展

くぼ であ いっひこ

久保寺逸彦—アイヌ文学研究の足跡

2014年3月10日(月)～3月23日(日)

平日 13:00～17:00(16:30最終入場)
土・日・祝 10:00～17:00(16:30最終入場)

【会場】北海道大学アイヌ・先住民研究センター 1F

(札幌市北区北8条西6丁目 北海道大学構内)

※北海道大学アイヌ・先住民研究センターの入口は、通常施錠されています。
インターホンにて展示観覧の旨をお伝えください。

講演会

久保寺逸彦氏とアイヌ文学研究

2014年3月21日(金・祝) 14:00～17:00(13:30開場)

【会場】北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟) 2F 202教室

(札幌市北区北10条西7丁目 北海道大学構内)

【講師】中川 裕 (千葉大学教授)

佐々木利和(北海道大学アイヌ・先住民研究センター特任教授)



①



②



③



- ①久保寺逸彦著『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』②サハリン・新聞での採録の様子(1935年)
③久保寺氏が録音したレコード盤 ④青年時代の久保寺氏
(②③④は北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵「久保寺逸彦文庫」)



④

アイヌ語やアイヌ文学、宗教儀礼などの研究に大きな足跡をしるした久保寺逸彦氏は、長年にわたって録音や筆録などを積み重ね、その整理と記注などの基礎的な作業に力を注ぎ、膨大な資料を遺しました。なかでも、1934～36(昭和9～11)年頃に北海道・サハリン(樺太)の各地で行なった調査では、当時は珍しかったレコード盤や16mmフィルムを用いた記録を行っています。このとき録音された500枚を超えるレコード盤は、まとまった量と様々な内容のアイヌ語を録音した資料としては、現在知られている限り、もっとも古いものです。

北海道立アイヌ民族文化研究センターでは、久保寺氏のご遺族からこれらの貴重な資料の寄贈を受け、「久保寺逸彦文庫」と名付け、整理を進めてきました。このほど、資料の公開に向けた取り組みの一環として、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの共催により、これら1930年代の調査記録を中心に、久保寺氏が遺した資料を通してその足跡を紹介する資料展を開催します。

期間中には、久保寺氏とアイヌ文学研究に関する講演会も開催します。

皆様のお越しをお待ちしております。

入場・参加無料、申込不要

(共催機関名・問い合わせ先)

※駐車場はございません。

公共交通機関をご利用ください。

資料展: 北海道立アイヌ民族文化研究センター

011-272-8801

講演会: 北海道大学アイヌ・先住民研究センター

011-706-2859